

報告とお礼

6.9「とめよう！原発依存社会への暴走 大集会 -地震も事故もまったなし-」に1400人超が結集

「原発依存社会」に向かって暴走する政府と電力会社

岸田政権は、5月15日、エネルギー基本計画の見直しに着手しました。今年度末までに「脱炭素・AI時代に対応するために、原発・再エネの最大限活用」を進めるとする第7次エネルギー基本計画を決定し、「原発依存社会への暴走」を加速させようとしています。既存原発の再稼働、原発の40年超え運転をさらに進め、60年超え運転も拡大し、原発リプレイスまで狙いに上らせようとしています。原発を「ベースロード電源」と定め、石炭火力まで維持しようとする、世界でも稀な時代遅れの政策です。

一方、老朽原発依存経営の泥沼にのめりこむ関電は、来年には老朽原発の仲間入りをする高浜3、4号機（運転開始後39年）でトラブル（損傷、減肉など）続きの蒸気発生器の交換を行うとして（2026年6月～27年2月実施予定）、事前了解願を2022年11月に福井県と高浜町に提出し（本年6月5日、原子力規制委員会は本件に関する「審査書案」を了承しています）、また、去る5月28日には、老朽原発・高浜1、2号機（運転開始後49年、48年）で応力腐食割れが進む炉内構造物（バップルフォーマーボルト）の取替計画（2028年6月～29年4月実施予定）の事前了解願を福井県と高浜町に提出しています。しかし、小手先の安全対策として原発の一部を交換したとしても、老朽原発の安全性が飛躍的に向上するはずがありません。老朽原発では、交換不可能な圧力容器の脆化が進み、点検や交換が難しい配管や送電ケーブルの損傷も進んでいます。

老朽原発の運転継続に血道をあげる関電、規制委、政府を許してはなりません。

自然エネルギーに全面切り替えを！

そもそも、人類のエネルギーに対する欲望のために、原子核に閉じ込められた膨大なエネルギー（化学反応エネルギーの百万倍程度）を解放しようとするから、原発過酷事故が起こり、危険極まりない使用済み核燃料が発生するのです。また、地球が数億年かけて地中に蓄えた化石燃料を100年程度で枯渇する勢いで使うから、炭酸ガスが増えるのです。

現在の焦眉の課題・気候問題は、太陽から現在届いているエネルギー（自然エネルギー）のみを利用し、化石燃料や核燃料に閉じ込められたエネルギーを解放しない社会の実現を求めています。自然エネルギーのみを利用すれば、燃料費はほぼゼロですから、コストは原発に比較して圧倒的に安い（使用済み核燃料の処理、保管費、事故対策費を無視しても、1/4以下）のは当然です。また、自然エネルギーのみの利用は、生態系を守り、持続可能な地球環境を維持する最良の手段です。さらに、自然エネルギーは、供給が国際情勢の影響を受け難い自前のエネルギーです。大地震が発生しても過酷事故に至ることもありません。

今、世界は原発縮小、自然エネルギーへの転換に向かっていきます。世界の反原発運動が脱原発に向かわせているのです。凋落傾向の顕著な原発関連産業へのテコ入れのために「原発依存社会」に暴走する岸田政権など、風前の灯です。さらなる反原発運動の高揚によって、原発のない、人が人間らしく暮らせる社会を実現しましょう！

6.9「とめよう！原発依存社会への暴走 大集会 -地震も事故もまったなし-」は、 脱原発運動大高揚の第一歩に

6月9日、大阪市立うつぼ公園で開催された「とめよう！原発依存社会への暴走 大集会 -地震も事故もまったなし-」（主催：老朽原発うごかすな！実行委員会）には、関西、福井、富山、愛知、岐阜、首都圏、四国、青森、福島など全国から1400人を超えるご参集をいただき、原発推進に暴走する岸田政権や電力会社に「NO！」の決意を突き付けることができました。この大集会には、「核汚染水ストップ世界市民行進（GLOMA）」の一環として訪日中の韓国の皆さん約20人も参加されました。

大集会は、正午過ぎから始まったオープニングライブに続いて、13時より、「原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい実行委員会」の堀田みえ子さんの司会により開会しました。

主催者挨拶で中島哲演さん（原子力発電に反対する福井県民会議）は「13年前の福島原発事故やたった5か月前の能登半島の地震・津波の災禍が無かったかのように、国策民営の原発を推進している勢力が、息を吹き返し暴走している。若狭の廃炉を免れた7基の原発をすべて再稼働し、また、原発運転の継続のために、使用済み核燃料の乾式貯蔵施設や中間貯蔵施設の建設を画策している。原子力村は、原発立地地元・立地県議会や首長を巻き込み、放射能まみれの原発マネーをばらまき、もの言えぬ強権支配を強めてきた。しかし、全国で約30地点の住民・自治体は、原発・核燃サイクル施設の建設を拒否してきたことを忘れてはならない。かの珠洲市民は3度目の正直の市長選で10基の原発基地化を阻止した。小浜市民も小浜原発の建設を3度、使用済み核燃料中間貯蔵施設の建設を2度、市長選で阻止してきた。とするなら、暴走・亡国の現政権を来る国政選挙で拒否しよう。地震も事故もまったなし。原発だけでなく、平和、いのちとくらしに関わるあらゆる分野で、国民の我慢は限界に達している。あとから来るもの達のために闘う決意を皆さんと分かち合いました」と呼びかけられました。

次いで、この集会の意義などに関する実行委員会からの基調発言があり、北野進・志賀原発廃炉訴訟原告団長の「能登半島地震が教えること」と題する講演が行われました。さらに、オール福井反原発連絡会の林広員さん、東海第2原発首都圏連絡会の志田文広さん、名古屋地裁で結審が近づく老朽原発40年廃炉訴訟市民の会の草地妙子さんは、それぞれ「老朽原発うごかすな！」のアピールを行いました。青森から遠路ご参加の核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会の中道雅史さんとふるさとを守る高浜・おおいの会の東山幸弘さんは「使用済み燃料の発生源・原発とめよう！」を訴えられました。

「原発依存社会への暴走をゆるすな！」のポテッカーアクション、カンパアピール（約30万円のカンパをいただきました）の後、核汚染水ストップ世界市民行進のイ・ウォニョンさんによる「汚染水で地球を汚すな！」の訴え、原発賠償京都訴訟原告団の堀江みゆきさんは「避難の権利、国の責任を認めよ！」の訴えが続きました。

労働団体の代表（大阪平和人権センターの近藤美登志さん、全国労働組合総連合近畿ブロックの菅義人さん、大阪ユニオンネットワークの西山直洋さん）からは「労働者の力で原発止めよう」のご挨拶を頂きました。脱原発を掲げる6党（社民党・新社会党・緑の党グリーンズジャパン・日本共産党・れいわ新選組・立憲民主党）の代表者の登壇いただいたの紹介は、脱原発での共闘の拡大を象徴しています。

最後に、オール福井反原発連絡会の山本雅彦さんが、集会宣言（本チラシ裏面参照）を高々と読み上げ、満場の拍手で採択され、集会は閉会しました。

なお、本集会には、全国で、反原発、反核燃施設を闘う23の団体からメッセージが寄せられ、プログラムとともに冊子として配布されました。

集会後、参加者は御堂筋デモに出発しました。途中、手を振り、声をかけて下さる市民が多数あり、また、飛び入りご参加もあり、大いに励まされました。

本集会の詳細は、STOP原子力★関電包囲行動のためき御膳さんがYouTubeにUP下さっています。是非ご覧ください。

https://youtu.be/gosUIOkm_80?si=pZA6F6KceK8Soi8z

6.9「とめよう！原発依存社会への暴走 大集会 -地震も事故もまったなし-」にご支援、ご参加を 頂きました皆さん、ありがとうございました。

2024年6月11日

老朽原発うごかすな！実行委員会
連絡先 090-1965-7102（木原）



原発推進に抗議 9日・大阪で集会
デモ行進も

原発推進に抗議を切った岸田政権の動きに抗議しよう」といよいよ「原発依存社会への暴走 大集会」も地震も事故も待たなし」が9日午後1時から、大阪市西区靱本町の靱公園で開かれる。午後2時半からデモ行進も予定されている。

東日本大震災によって東京電力福島第1原発で爆発事故が相次ぎ、日本は脱原発への道をいったんは選択した。しかし、岸田政権は2023年、脱炭素対策のために原発を積極的に活用するという政策の大転換に踏み切った。

運転開始から40年以上経過して劣化が進む原発の再稼働や地震国日本での原発運転の危険性などを訴えている団体の呼びかけで開催される。集会では能登をはじめ全国各地の報告を予定。参加無料。主催は老朽原発うごかすな実行委員会(090-1965-7102)。(湯谷茂樹)

2024年6月6日
毎日新聞(告知記事)

この大地震では、道路が寸断され、放射線モニタリングポストの多くが測定不能に陥り、多くの家屋が全壊、半壊し、原発が過酷事故を起こしたとき、避難は困難を極め、屋内退避も不可能であることも実証されました。

なお、福島原発事故は、当時、原発が稼働中であったため過酷事故に至りました。一方、能登半島地震では、震源となった珠洲市で計画されていた原発の建設が阻止され、志賀原発の稼働が食い止められていたため、過酷事故を回避できました。原発の建設、再稼働を阻止し、全廃を求める行動が、原発過酷事故から人の命と生活を守ったと言えます。

ところで、政府や電力会社などの原発推進勢力は、福島原発事故や能登半島地震の大きな犠牲を教訓とせず、炭酸ガス削減やエネルギー逼迫を口実にして、原発の稼働に奔走しています。

岸田政権は、昨年5月末の通常国会で、5つの「原発推進関連法」を束ねて成立させました。原発の60年超え運転を可能にし、運転期間の判断を経産省に委ね、原子力基本法に「原発推進を国の責務とする」の一項を加えました。「原発依存社会への暴走」です。

その岸田政権は、去る5月15日、エネルギー基本計画の見直しに着手しました。「脱炭素・AI時代に対応するために、原発・再エネの最大限活用」を進めるとし、原発建て替えまで狙上に上らせ、「原発依存」をさらに加速させようとしています。

一方、政府の意をくむ関電は、能登半島地震で、若狭でも震度4の強い地震動を観測したにも拘らず、稼働中の原発を停止しなかつただけでなく、定期点検中であった老朽原発・美浜3号機を予定通り再稼働させました。原発は、万が一にも過酷事故を起こしてはならない装置です。大地震時には、稼働を止めて、詳細な点検を行うのが当然であり責務です。

今、政府と電力会社は、多くの反対の声を蹂躪して、老朽原発の稼働を強行しています。老朽原発まで稼働させなければ、彼らの願望する「原発依存社会」を実現できないからです。圧力容器の脆化、配管の腐食、減肉、ケーブルの劣化が進み、危険極まりない老朽原発の稼働を許してはなりません。なお、関電は、来年には40年超えとなる高浜3、4号機の運転延長を画策し、原子力規制委員会は、去る5月29日にこれを認可しています。これで、関電の稼働可能な老朽原発は、全原発7基の内、5基となります。

政府と電力会社は、満杯になろうとする燃料プールから使用済み核燃料を取り出して乾式貯蔵に移して、プールに空きを作ることに躍起です。燃料プールが満杯になれば、原発の運転ができなくなるからです。消滅法も行き場もない使用済み核燃料を発生させる原発の稼働を許してはなりません。

「原発推進法案」は、昨年5月に成立しましたが、関連法の整備が必要であるため、60年超え運転に関わる部分などは未だ施行されていません。完全施行は来年6月といわれています。脱原発を求める私たちの行動が拡大すれば、骨抜きに出来、実行不能に追い込むことも出来ます。

本日、大阪・うつぼ公園に結集した私たちは、目先の経済的利益のために奔走し、能登半島地震を目の当たりにしても「原発依存社会への暴走」「原発推進経営」を止めようとする政府や電力会社を断固として糾弾し、原発全廃の大きなうねりを出現させ、自然エネルギーのみの利用で成り立ち、人が人間らしく生きていける社会の構築に向けて力強く前進することを宣言します。

2024年6月9日
「とめよう! 原発依存社会への暴走 大集会」参加者一同

6.30「さよなら! 志賀原発 全国集会 in 金沢」に結集し、原発全廃への突破口を切り開こう!

6.30 金沢集会の概要

日時; 6月30日(日) 13:00 オープニング、14:00 集会開会、15:30 市内デモ出発
集会場所; いしかわ四高記念公園(金沢市広坂2-2)
主催; さよなら! 志賀原発 全国集会実行委員会
連絡先; 076-261-4657

京都、大阪からのマイクロバスの配車

2024年問題やインバウンドのために、配車できる車両台数が限られます。先着申し込み順に受け付けます。75名限りです。090-5676-7068(橋田)、090-9213-7395(木戸)または090-9540-1959(松原)にお問合せ、お申込ください。

原発推進政権にノー

大阪

原発依存の社会を変えよう」と9日、大阪市内で集会が開かれました。1400人が参加し、日本共産党の、たつみコータロー衆院近畿比例候補も参加しました。

原子力発電に反対する福井県民会議の中島哲演氏は、珠洲(すず)市の原発建設計画を止めた運動に学び、原発推進の政府を総選挙で代えよう」と強調。実行委員会の木原

参加した八尾市の男性(35)は「コールに乗る市民の好循環で盛り上がった、大阪市中央区の女性(48)は「原発の運動を広げたい」と話しました。

2024年6月11日 しんぶん赤旗

デモと市民コールの好循環

参加者ら9日、大阪市内

壮林氏は、志賀原発が過酷事故を起こせば避難できないことが能登半島地震で分かったと述べ、「原発推進を突き進む岸田政権にノーを突き付けよう」と話しました。

デモ行進では、若い男性3人が飛び入り参加。「原発を廃止に」と声をかける市民や、同じ思いだとジェスチャーする市民もいました。

2024年6月11日 しんぶん赤旗

6.9「とめよう! 原発依存社会への暴走 大集会 -地震も事故もまったなし-」集会宣言

福島原発事故から13年経ちましたが、この大惨事は、原発は現在の科学技術で制御できる装置でなく、重大事故を起こせば、生活基盤を根底から奪い去ることを、大きな犠牲の上に教えました。一方、本年元日に発生した能登半島地震は、「地震は、いつ、どこで、どの規模で発生するか予知できないこと、原発は地震に極めて脆弱であり、一刻も早い全廃が求められること」を再認識させました。